保 証 書

品　名	温水ラジエーター用リモコン FRR-09A-NB
機器コード	10-049-39-09861

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1．保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、リモコン本体を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
　電装基板(電装基板に起因する故障のみ)…… 5年
2．万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3．サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4．保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
　(1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
　(2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
　(3) 器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
　(4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
　(5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
　(6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
　(7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
　(8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
　(9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
　(10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
　(11) 本保証書を紛失された場合
5．無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガス株式会社　〒105-8527　東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者　株式会社ノーリツ　〒650-0033　神戸市中央区江戸町93番地

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日				
販売店			扱者印		
住所					
電話番号					

■お客さまへ

1．この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2．本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4．この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

SHA8978
SHA8978

温水ラジエーター用リモコン
取扱説明書　保証書付

品名
FRR-09A-NB

もくじ

まずはじめに
- 必ずお守りください(安全上の注意)……2
- 各部のなまえとはたらき……3
- 時計を合わせる……4

使いかた
- 温水ラジエーターを運転する……5
- お好みの時刻に温水ラジエーターを運転・停止するよう設定する<タイマー>…6
  - ・タイマー時刻を設定する……6
  - ・タイマー「入」にする……8
  - ・タイマー「切」にする(タイマー解除)…9
- 温度を調節する……10
- 温水ラジエーターの温度を一時的に早く上げる<パワフル運転>…11

必要なときに
- 操作ロックをする……12
- 操作音を消す(鳴らす)……13
- 日常のお手入れのしかた……13
- 故障・異常かな？と思ったら……14
- アフターサービスについて……15
- 保証書……裏表紙

お客さまへのお願い
この取扱説明書は、「リモコン操作」に関する取扱説明書です。熱源機および温水ラジエーターの取扱説明書と併せてよくお読みになって、正しくご使用ください。

このたびは温水ラジエーター用リモコンをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
＊この取扱説明書は熱源機や温水ラジエーターの取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

TOKYO GAS

1．取扱説明書

取扱説明書	FRR-09A-NB	10049309861	01

必ずお守りください(安全上の注意)

★リモコンに関する内容ですので、熱源機の取扱説明書の該当ページと併せてご覧ください。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠警告

リモコンの設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼する

必ずおこなう

安全に使用していただくため。

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

⚠注意

リモコンの目盛り5以上、またはパワフル運転(☞P11)中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する

必ずおこなう

やけど予防のため。

暖房以外の用途には使用しない

禁止

特殊な用途(動物の飼育・植物の栽培・食品の保存など)には使用しないでください。
思わぬ事故を予防するため。

お願い

リモコンは0℃～40℃の室温で使用する

故障の原因になります。

リモコンの掃除には、塩素系や酸性の洗剤などを使用しない

変形する場合があります。

リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

停電すると、運転が停止します

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

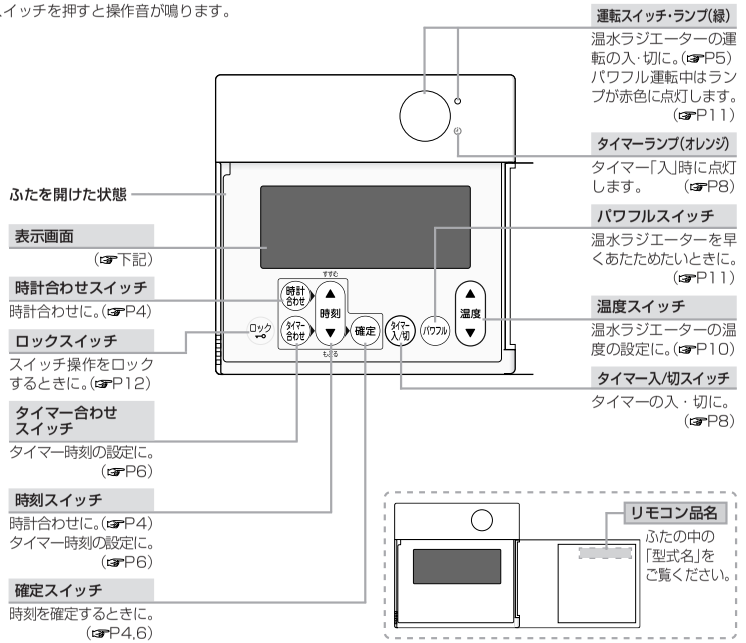
時計がリセットする場合があります。

表示画面を強く押さない

液晶が破損する場合があります。

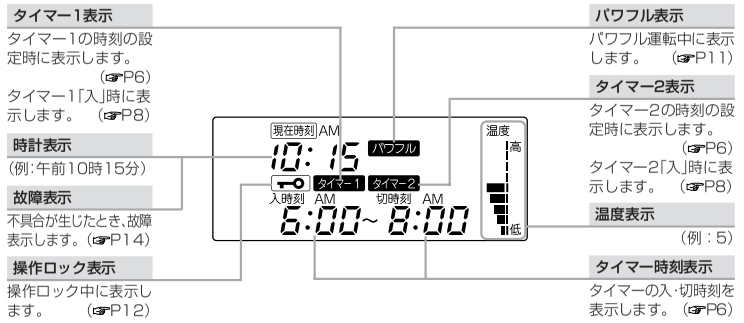
各部のなまえとはたらき

スイッチを押すと操作音が鳴ります。

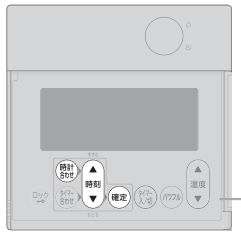


● 表示画面 ●

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態やリモコンの種類によって、異なる表示をします。



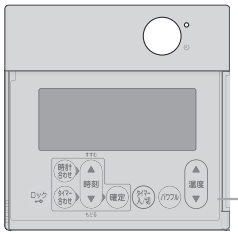
時計を合わせる



操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の 時計合わせ を押す	点滅 -:-- （表示例）	＊運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。
2 ▲時刻▼ で時計を合わせる	10:15 ここ （例：午前10時15分）	＊一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。
3 確定 を押す 【時計合わせ完了】	ここのみ点滅 10:15	＊元の画面に戻ります。 ＊約30秒そのままにしても設定完了します。

＊停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「-:--」になる場合がありますので、時計を合わせ直してください。

温水ラジエーターを運転する

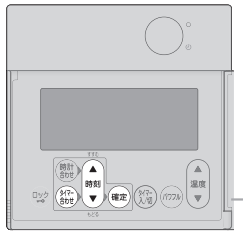


操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転スイッチを押して「入」にする 【温水ラジエーター運転開始】	点灯 10:15 パワフル （表示例）	＊運転ランプ点灯（赤）。 ＊前回の設定内容で運転を開始します。 ＊約60分後に パワフル が消灯し、運転ランプが緑色に変わります。 ＊初期設定（工場出荷時）の目盛りは5です。
● 運転を停止したいとき		
運転スイッチを押して「切」にする	10:15	＊運転ランプ消灯。

⚠注意	リモコンの目盛り5以上、またはパワフル運転（☞P11）中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する
やけど予防のため。	

＊パワフル運転（☞P11）で開始し、約60分後に通常運転に切り替わります。（運転停止後、すぐに再運転したときは、通常運転で開始する場合があります）

お好みの時刻に温水ラジエーターを運転・停止するよう設定する<タイマー>-1

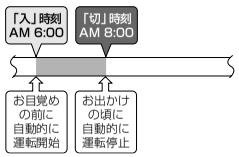


ふたを開けた状態

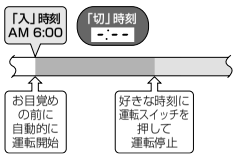
＊P6～7の方法でタイマー時刻を設定し、P8の方法でタイマー「入」にしておけば、リモコンの運転スイッチ「入」「切」に関係なく、毎日同じ時刻に自動的に温水ラジエーターを運転または停止します。
＊1日に2つの時間帯 タイマー1 と タイマー2 を設定できます。

「入」時刻・「切」時刻の設定例

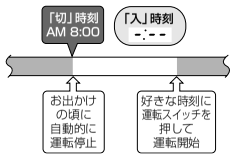
■朝6時に自動的に温水ラジエーターを運転し、朝8時に自動停止する



■朝6時に自動的に温水ラジエーターを運転する（手動で停止する）



■朝8時に自動的に温水ラジエーターを停止する（手動で開始する）



タイマー時刻を設定する

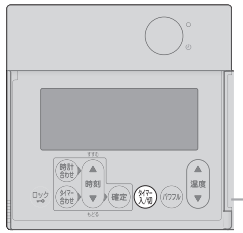
操作	操作後の画面	お知らせ
タイマー1 に、朝6時に自動的に温水ラジエーターを運転し、朝8時に自動停止するよう設定する例で説明します		
準備 現在の時刻が正しいかどうか確認する（時計を合わせる☞P4）		
1 ふたの中の（タイマー合わせ）を押して「入」時刻の設定画面にする ＜ タイマー2 を設定する場合＞ ふたの中の（タイマー合わせ）を長押し（約1秒以上）して「入」時刻の設定画面にする（ タイマー2 が点灯します）	（表示例）	＊運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。 ＊前回設定した「入」時刻を表示します。
2 （時刻 ▲▼）で「入」時刻を設定する 【「入」時刻設定完了】		＊一度押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。 ＊前回の設定でよければ、「入」時刻設定せず、手順3をおこなってください。 ＊「入」時刻を設定しない場合は、時刻を「-:--」に設定してください。（「-:--」はPM11:50とAM0:00の間にあります）
3 （確定）を押して「切」時刻の設定画面にする		＊前回設定した「切」時刻を表示します。

操作	操作後の画面	お知らせ
4 （時刻 ▲▼）で「切」時刻を設定する 【「切」時刻設定完了】		＊一度押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。 ＊前回の設定でよければ、「切」時刻設定せず、手順5をおこなってください。 ＊「切」時刻を設定しない場合は、時刻を「-:--」に設定してください。（「-:--」はPM11:50とAM0:00の間にあります）
5 （確定）を押す		＊時計合わせをしていない場合は、時計合わせの画面表示になります。（☞P4） ＊約30秒そのままにしても設定完了します。
タイマー時刻の設定が完了したら、P8の方法でタイマー「入」にしてください		

● タイマー時刻を確認したいとき

1 ＜ タイマー1 を確認したいとき＞ （タイマー合わせ）を押す ＜ タイマー2 を確認したいとき＞ （タイマー合わせ）を長押し（約1秒以上）する	確認（表示例）	
2 （確定）を2回押す		＊元の画面に戻ります。

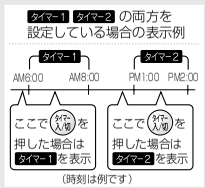
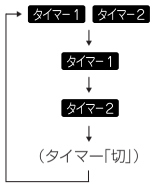
お好みの時刻に温水ラジエーターを運転・停止するよう設定する<タイマー>-2



ふたを開けた状態

P6～7の方法でタイマー時刻を設定しないと、タイマー「入」にはできません。

タイマー「入」にする

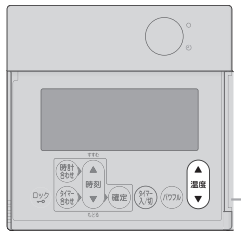
操作	操作後の画面	お知らせ
準備 現在の時刻が正しいかどうか確認する（時計を合わせる☞P4） タイマー時刻を設定する（☞P6～7）		
1 タイマー入/切 を押して「入」にする 【タイマー「入」完了】	（表示例） 点灯	＊⏻（タイマーランプ）が点灯します。  （時刻は例です）
●【タイマー1と タイマー2の両方の時刻設定をしている場合】どちらか一方のみ、タイマー「入」にしたいとき		
タイマー入/切 を数回押して タイマー「入」に したいパターンを選択する	 	＊押すごとにパターンが切り替わります。 ＊タイマー1と タイマー2の時刻が重複している場合、「タイマー1 タイマー2」の設定はできません。

操作	お知らせ
●「入」時刻になる前に、運転したいとき	
運転スイッチを押す	＊運転ランプ点灯（赤）。 ＊タイマー「切」にはなりません。（タイマー「入」のままです） ＊切時刻になると、自動的に運転が停止します。
●「入」時刻になったあと、運転を停止したいとき	
運転スイッチを押す	＊運転ランプ消灯。 ＊タイマー「切」にはなりません。（タイマー「入」のままです）
● タイマー「入」後に、タイマー時刻を変更したいとき	
いったん下記の手順でタイマー「切」にし、 P6～7の手順でタイマー時刻を設定し直す	

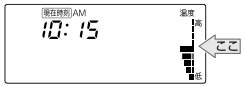
タイマー「切」にする（タイマー解除）

操作	操作後の画面	お知らせ
1 タイマー入/切 を押して「切」にする （タイマー1と タイマー2の両方の時刻設定をしている場合は、タイマー入/切 を数回押すと「切」になります）	（表示例） 消灯	＊⏻（タイマーランプ）が消灯します。 ＊入時刻になってからタイマー「切」にすると、運転スイッチ「切」にするまで運転を続けます。

温度を調節する

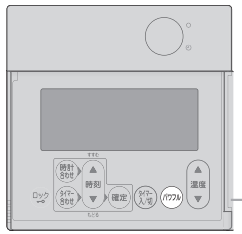


ふたを開けた状態

操作	操作後の画面	お知らせ
1 ▲温度▼で調節する	 （表示例）	＊運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。 ＊1～9段階で設定できます。お客さまのお好みに合わせて、調節してください。

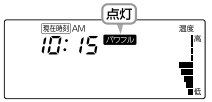
⚠注意	リモコンの目盛り5以上、またはパワフル運転中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する
やけど予防のため。	

温水ラジエーターの温度を一時的に早く上げる
＜パワフル運転＞



ふたを開けた状態

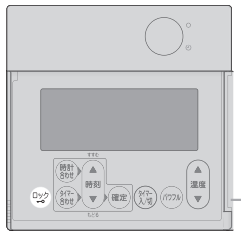
設定温度に関わらず、約60分間、最大能力で運転し、その後通常運転に戻ります。

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転スイッチ「入」中に、パワフルを押す	 （表示例）	＊運転ランプ点灯（赤）。通常運転に戻ると、赤色から緑色に変わります。
● パワフル運転を解除したいとき		
パワフルを押す		＊運転ランプ点灯（緑）。

⚠注意	リモコンの目盛り5以上、またはパワフル運転中は、ラジエーター本体が高温になる場合があるので注意する
やけど予防のため。	

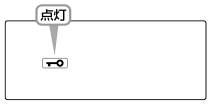
＊運転スイッチ「入」にすると、毎回パワフル運転で開始します。（運転停止後すぐに再運転すると、通常運転で開始する場合があります）

操作ロックをする



ふたを開けた状態

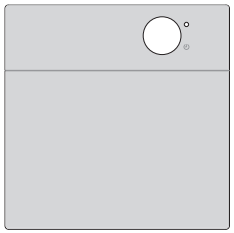
子供がいたずらしたり、誤ってスイッチを押したりしても、作動しないように設定できます。

操作	操作後の画面	お知らせ
1 運転スイッチとタイマーが「切」になっていることを確認する		＊運転スイッチ「入」、タイマー「入」では設定できません。
2 ロック を長押し（約3秒）する		

● 操作ロックを解除したいとき

ロック を長押し（約3秒）する	（表示例）	

操作音を消す（鳴らす）



リモコンの各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」という操作音が鳴ります。
お好みにより、この音を鳴らないようにしたり、鳴るようにしたりできます。
（お買い上げ時は、鳴るように設定しています）

操作	お知らせ
1 運転スイッチを約5秒以上押す 【設定完了】	＊運転スイッチ「入」「切」に関係なく、設定できます。 ＊操作音を鳴らす設定にしたときは、「ピッ」と音がします。 操作音を消す設定にしたときは、音はしません。

＊運転スイッチを押した瞬間に温水ラジエーターの運転が「入」または「切」になりますので、設定の変更後、必要に応じて「切」または「入」にしてください。

日常のお手入れのしかた

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

お願い	リモコンの掃除には、塩素系や酸性の洗剤などを使用しない	お願い	リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない
変形する場合があります。		炊飯器、電気ポットなどに注意。 故障の原因になります。	

故障・異常かな？と思ったら

★リモコンに関する内容ですので、機器本体の取扱説明書の「故障・異常かな？と思ったら」と併せてご覧ください。

	こんなときは	こんなことが考えられます	対策
リモコン	運転ランプが点滅している	熱源機に不具合が発生しています。	運転スイッチ「切」にすると故障表示が出るので、該当する故障表示の処置をする。 ☞熱源機の取扱説明書「故障・異常かな？と思ったら」
	時計表示が「-:--」になっている	停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「-:--」になる場合があります。	時計を合わせ直す。 ☞P4
	タイマー入/切スイッチを押しても入時刻・切時刻を表示しない（タイマー「入」にできない）	タイマー時刻を設定していない。	タイマー時刻を設定する。 ☞P6～7
	リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	リモコンの表面には、出荷時に保護シート（表面に傷などがつかないようにするためのもの）が貼ってあります。この保護シートは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。 保護シートをはがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。
	3桁の数字が点滅している	熱源機に不具合が発生しています。	該当する表示の処置をする。 ☞熱源機の取扱説明書「故障・異常かな？と思ったら」
暖房	室内がなかなかあたたまらない	外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。	異常ではありません。
		温水ラジエーター用リモコンの設定温度の目盛りを低めに設定している。	目盛りを上げる。 ☞P10
	温水ラジエーター用リモコンの温度変更をしていないのに温水ラジエーターの温度が下がった	温水ラジエーターの運転しはじめは、早く温水ラジエーターをあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。	異常ではありません。
	温水ラジエーターの運転中に音がする	暖房の熱によって、温水ラジエーターなどが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。	異常ではありません。
	運転していないのに温水ラジエーターがあたたまることがある	暖房回路内の空気抜きや凍結予防のためにポンプが作動したときに、他の暖房放熱器を使用していると、一時的に温水ラジエーターがあたたまることがあります。	異常ではありません。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P14の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名 ……リモコンに記載のリモコン品名をご覧ください（☞P3）
お買い上げ日 ……保証書をご覧ください
異常の状況 ……できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。